

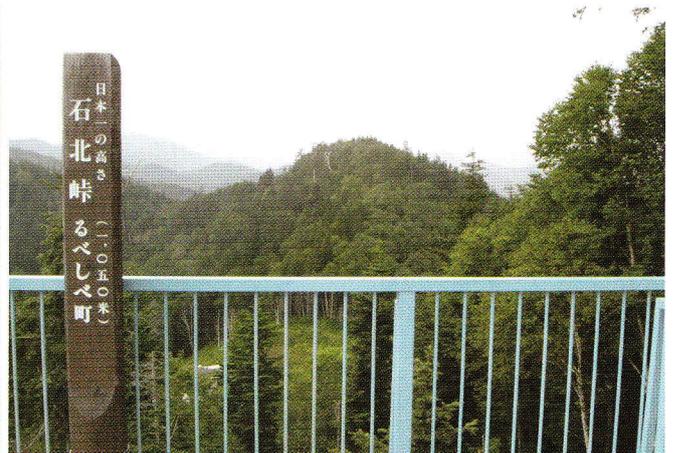
場でのステージイベントなどの地域の総合力が反映された順位。今回の参加で課題と目標ができた」と振り返っていました。

大雪国道（国道三十九号線）のいま

昨年の「平成屯田兵」は旭川空港に降り立ち、大雪の山々、層雲峡の滝などを観ながら、大雪国道（国道三十九号線）を通り北見にこられたと思います。旭川から北見へ入るルートは大きく二つの方法があり、上川―石北峠―おんねんゆ温泉―留辺蘂―北見市といった大雪国道を通る石北峠ルートと、上川―北見峠―丸瀬布―北見市街といった北見峠ルートがあります。現在、道央自動車道から直結している旭川紋別自動車道が延伸整備され、さらには、高速道路の無料社会実験などにより、前者の大雪国道を通る石北峠ルートの交通量が激減しております。これにより、石北峠の東に位置する北見の奥座敷おんねんゆ温泉の客足が急激に冷え込んでおります。また、石北峠の西に位置する上川町、層雲峡温泉でも当然同じ現象が起きております。北見市は通過型観光と言われておりましたが、通過すらさえしてもらえない状況になっております。一度変わった流れを元に戻すのは容易なことではな



美瑛ではありません。のどかな端野の風景です。



↑ココから北見市です！

いですが、指をくわえて見ている訳にはいかず、来年度より、上川町や各観光協会などと連携し、観光客の流れを回復させるべく各種施策を展開する予定でおります。

私も観光振興室は観光振興、物産振興、コンベンション誘致といった活動をおこなっております。観光振興では今年度より観光策メニューを一新し、北見観光協会とともに、オホーツク圏外からの誘客増を目指し、それに向けた試作を戦略的・継続的に進め、経済成長著しい海外からの誘客に力を入れるべく、第2次新北見型観光推進プロジェクトを推進しております。今後とも練り強く取り組むとともに、観光客のニーズを的確にとらえた施策展開により一層の観光客の促進に努めていきたいと考えておりますので、東京北見会の皆様におかれましても、今後とも北見市の観光振興にお力添えをいただければ幸いです。



### 編集後記

朝のNHK全国版で北見の朝が紹介されていきました。気温1.9度晴れ。カメラが北光か川東あたりから三角点方向に向けられ、東西に伸びている街全体を良くとらえられていました。

同時に、十月の三連休で訪れた際の張りのある朝の空気がよみがえります。

三角点と言えばその昔札幌の友人に北見を紹介する為にオートバイで駆け上がり（いけない事でした！）、街並みを教え、雲の流れを読み、これから向かう目的地を決めたものでした。

三十年前の事ですが、東京北見会は幾年もの皆さんの活動を重ね、そして一年の節目を迎えます。こうして活動を会報にまとめ皆さんにお届け出来るのも、全在京ふるさと会、各高校OB会、などなどいくつもの活動が重なり合っています。皆ふるさと北見を大切に想い、より発展していく事を願っていることと思います。一方でまだまだこれらの活動、会に接していない在京北見出身者が多い事も事実です。様々な方の参加を得て、活動の幅が広げて欲しいと思いつつ、石北峠の紅葉を楽しみ戻りました。戻ったらまた皆に紹介していこうと。（記 M・N）